

江川が結ぶ縄文のムラ

—高井・諏訪野・デーノタメー

〔展示期間〕

平成29年3月5日（日）～5月7日（日）

江川は桶川市の西部を流れる小河川です。この流域では、1968年に高井遺跡の発掘調査が行われ、縄文時代のムラを知る先駆けとなっています。

高井遺跡とともに近年の発掘調査によって姿を現した大規模環状集落である「諏訪野遺跡」と「デーノタメ遺跡」（北本市）の資料を展示します。

展示解説講座

『発掘者からの報告 —高井・諏訪野・デーノタメー』

平成29年3月26日 午前9時30分開講

コーディネーター：大工原 豊氏（國學院大學文学部兼任講師）

特別文化財講座

『縄文の豊かさを知る —杉並縄文人からの伝言—』

講師：岡村道雄氏（奥松島縄文村歴史資料館名誉館長）

平成29年3月26日 午後2時開講

〔問い合わせ〕

桶川市歴史民俗資料館

〒363-0027 桶川市川田谷4405-4 川田谷生涯学習センター内

電話 048-786-4030

E-mail rekishi@city.okegawa.lg.jp

